

測量機器の高度化は建設機械の数値制御をも可能にした

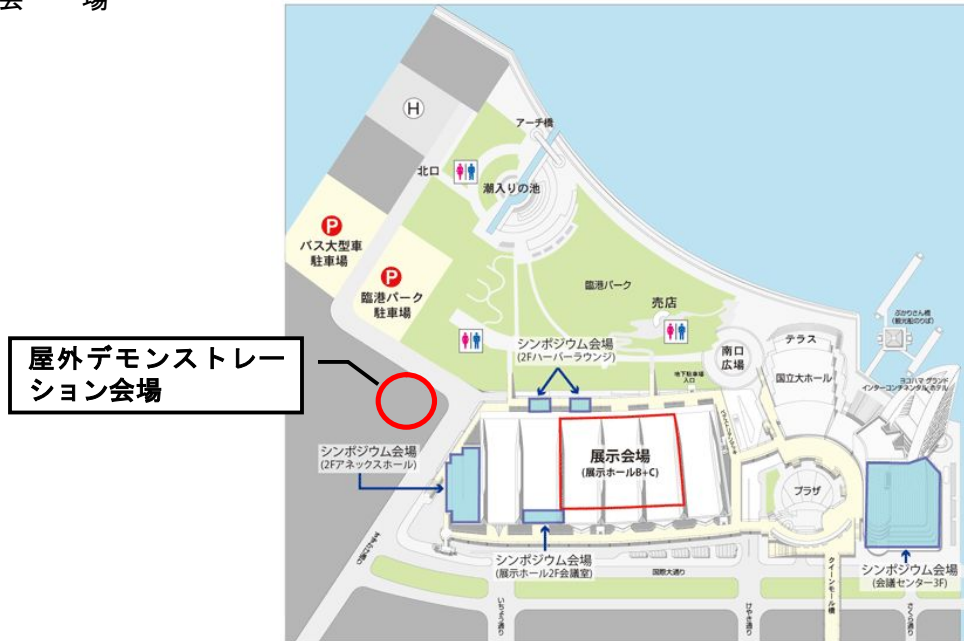
昨今、測量機器類の機能は飛躍的に高度化されてきており、静止測点の測位精度を単に高めることのみではなく、高速移動する動体測点を高精度で連続測位することを可能にしております。この高度な移動体測位機能を活用することにより、建設機械の作業装置と対象個所との相対座標を瞬時に高精度で得ることが出来、従来の作業目安杭を測設して間接的な目視操作から、移動体測位データを直接使用して予めインプットした作業データに沿って作業装置を数値制御することを可能にしました。

土木建設業においては一般製造業と異なり作業装置と対象物の相対座標が容易に設定できないため、測量作業により建設機械の作業目安となる杭を設置する必要があります。このため、建設機械のロボット化はきわめて困難であり、高い生産性を得ることができませんでした。しかし、この画期的なシステムは'第三の土木施工革命'とも呼ばれる ICT 技術を活用した画期的な'情報化施工システム'は急速に普及促進されております。今回、屋内展示場には模型の建設機械を動かしてトータルステーションで自動追尾させ情報化施工によるマシンコントロールシステムを一般の方々にも分かりやすく理解していただけるようにいたしました。又、特設フィールドでは、実際に使用している小型ブルドーザーを用いて建設機械の数値制御システムのデモンストレーションを行い、その優れた機能を実感していただきます。



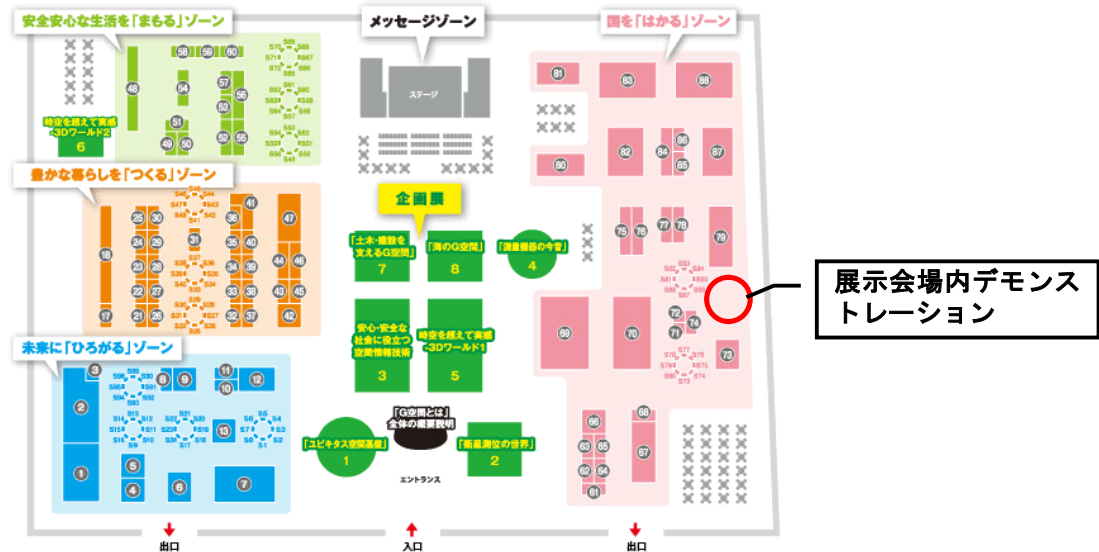
< 屋外デモンストレーション >

- 実施日時 2010年9月19日(日), 20日(月・祝), 21日(火)
時刻は、当日の会場でご案内します。
- 会場



< 展示会場内デモンストレーション >

- 実施日時 2010年9月19日(日), 20日(月・祝), 21日(火)
- 会場



企画実施： (社)日本建設機械化協会 施工部会 情報化施工委員会
協 力： G空間 EXPO 実行委員会